

○議長（小林哲雄）

日程第12 報告第5号 平成24年度開成町土地開発公社決算報告についてを議題といたします。

説明を公社理事長に求めます。

理事長。

○副町長（小澤 均）

報告第5号 平成24年度開成町土地開発公社決算報告について。

地方自治法第243条の3第2項の規定により、平成24年度開成町土地開発公社決算報告書を別添のとおり提出する。

平成25年6月21日提出、開成町長、府川裕一。

それでは、これより開成町土地開発公社における平成24年度決算状況について、ご説明申し上げます。

決算報告書の1ページをお開きください。

事業報告書。1の公有地取得状況と2の公有地売却状況、ともに平成24年度はございませんでした。

次のページをご覧ください。

3の重要庶務事項から3ページの6の職員に関する事項につきましては、記載のとおりとなっております。

それでは、先に最後のページ、13ページをお開きください。収入支出決算説明書となっております。

収入の部。当年度決算額の欄をご覧ください。事業収入、土地売却収入4,962万5,000円、これは松ノ木河原の土地を町に売却した代金に係る平成24年度分の収入でございます。なお、この売却代金につきましては、平成20年度から8年間で町から返済される予定となっております。繰越金1,075万3,701円は、平成23年度からの繰越金でございます。事業外収入、利息収入5,394円。収入合計としましては、6,038万4,095円となっております。

支出の部。当年度決算額の欄をご覧ください。事業費、土地取得費及び管理費、一般管理費は、支出がございません。借入金償還金4,530万5,212円でございます。償還金につきましては、平成20年度から8年間で元金を償還する予定となっております。事業外支出、支払利息254万9,814円。これは、借入金に対する利子分の償還でございます。予備費の支出はございません。支出合計としましては、4,785万5,026円となっております。

前のページ、12ページの内容は、重複をいたしますので説明は割愛をさせていただきます。割愛させていただきますけれども、表の一番下の部分をご覧ください。平成24年度収入支出差引額、収入から支出を差し引いた1,252万9,069円については、次年度へ繰り越しをいたします。

次に、お戻りいただきまして、6ページのキャッシュ・フロー計算書から先にご説

明をさせていただきます。

(1)の事業活動によるキャッシュ・フロー、その他事業収入431万9,788円、これは町からの土地売却収入から公社が償還した元金を差し引いた金額でございます。利息の受取額としましては、定期預金等の預金利息5,394円、利息の支払額としましては、借入金利子254万9,814円の支払いでございます。その差し引きとして、平成24年度の事業活動によるキャッシュ・フローは、177万5,368円となっております。

次に、(2)の投資活動によるキャッシュ・フローでございます。平成24年度は、(1)の事業活動によって生じた収益と普通預金にある現金を加えまして、200万円を定期預金に積み増しをしております。投資活動によるキャッシュ・フローはマイナス200万円となっております。

(3)財務活動によるキャッシュ・フローは、ございません。

以上、(1)から(3)の結果、開成町土地開発公社の平成24年度のキャッシュ・フローとしましては、(4)の現金及び現金同等物増加額はマイナス22万4,632円となっております。これに(5)現金及び現金同等物期首残高を足しまして、(6)現金及び現金同等物期末残高につきましては151万4,275円となっております。

それでは、5ページにお戻りいただきたいと思っております。

決算諸表の2の損益計算書でございます。詳細の説明は省略をさせていただきますけれども、このページの一番下の当期純利益につきましては、先ほどキャッシュ・フロー計算書でご説明申し上げたとおり、177万5,368円となっております。

それでは、4ページにお戻りいただきたいと思っております。

1の貸借対照表でございます。資産の部につきましては、公社が保有する預貯金と松ノ木河原の土地の売却に係る平成27年度までに発生する資産を合わせまして、資産合計は1億5,344万4,709円でございます。負債の部につきましては公社が平成27年度までに償還する借入金の元金で、負債合計は1億3,591万5,640円となっております。資本の部につきましては、公社の基本財産、前年度からの繰越金、当期純利益を加えまして、資本合計は1,752万9,069円となっております。

7ページをご覧ください。

これまでご説明申し上げた事項について、注記事項に内訳を記載しておりますので、後ほど、ご参照をいただきたいと思っております。

8ページをご覧ください。

5の財産目録でございますが、内容は、先ほど4ページの貸借対照表でご説明申し上げた資産と負債を再掲したものとなっておりますので、説明は省略をさせていただきます。

次に、9ページをご覧ください。

6の決算付属明細書、(1)の長期借入金明細表、これは松ノ木河原の土地を公社

が購入した際の借入金の状況でございます。借入先はかながわ西湘農業協同組合、利率、年1.5%、期首残高に対し、平成24年度に元金を償還した結果、期末残高につきましては1億3,591万5,640円となっております。(2)資本金明細書、基本財産としましては、開成町からの出資金500万円。(3)現金及び預金明細表につきましては、記載のとおりとなっております。

説明は以上です。よろしく申し上げます。

○議長（小林哲雄）

説明が終わりましたので、質疑に入ります。

2番、高橋久志議員。

○2番（高橋久志）

2番、高橋です。

ちょっと確認と、今後の開発公社のあり方、方向付けについて質問させていただきたいと思います。

新聞報道では、小田原市が開発公社を廃止すると。理事長のほうからも開成町の開発公社について解散すると、こういう話は聞いたわけですがけれども、そうしますと、今段階において、27年度までの状況がありますけれども、27年度を目途に解散とか、そういった手を踏むと。これは確認事項になるかと思うのですがけれども、どんなふうに考えているか教えていただきたい。

○議長（小林哲雄）

理事長。

○副町長（小澤 均）

たしか、今、高橋議員も申されたように、6月12日の神奈川新聞にも、南足柄市の土地開発公社が9月をめどに解散をされるといった記事、それから債務の持つておられる60億円については、いわゆる三セク債という地方債で償還をされるといふような記事が掲載をされておりました。それ以前から理事会の中では、実は、今年の2月7日の日に理事会において、県下市町村の中でも土地開発公社の廃止、解散、そういった動きがありますので、存続について、どうするのかという議論をしております。

その議論の中では、さまざま理事から意見が出ていますのですがけれども、基本方針としましては、25年度からスタートしました第五次総合計画の前期の計画期間におきましては、現在のまま公社を維持していくという方針。ただし、今、議員が申されたように、現在の松ノ木河原の土地の買収に係る償還が終わった段階で、いわゆる平成27年の段階で、その時点を捉えまして、駅前通り線ですとか、その周辺地域の基盤整備の計画上の予定もありますので、そういう動向を勘案しながら、その時点で改めて存続について議論をしようといったことになってございます。ですから、今の段階では、基本方針としては、前期の計画期間の中では存続していくということは、一応、基本方針としては持っております。

○議長（小林哲雄）

ほかにございますか。

（「なし」という者多数）

○議長（小林哲雄）

ないようですので、以上で報告第5号 平成24年度開成町土地開発公社決算報告
についての報告を終了いたします。

以上をもちまして本日の日程は全て終了いたしましたので、本日は、これにて散会
といたします。大変、ご苦労さまでした。

午後2時50分 散会